

第9回 江府町義務教育学校設置準備委員会【議事録】

<概要記録>

■期日：令和3年1月15日（金）

■時間：19：30～

■場所：役場2階 多目的室

<会議出席者>

【委員】手島委員長、谷田副委員長、井上委員、中田委員、河上委員、宮本委員、川上委員、山川委員、梅林委員、瀬尾委員、竹内委員

※稲田委員、北村委員…欠席

【事務局】富田教育長、加藤課長、景山学事担当課長

1 開会

委員長挨拶

本日は、校章の選定と校歌の選定ということで、事務局からの資料が提案として皆さんの机に出されている。本日の会で校歌・校章を決めたいと思っている。皆さんにこだわっていただいて、よいものができたらと思っている。本日もよろしくお願ひします。

2 報告

○保護者・学校及び学校・教育委員会の取り組み状況

小学校長 制服検討委員会を今月19日に行う予定。前回からは進んではいない。中学校で現在の制服に対する意識、意見についてのアンケートをとった。小学校でもとろうかと思っている。次回は、デザインや何年生から制服にするかということを決めていこうということになっている。

中学校長 PTAの方は、町P連の会を1月21日（木）に予定している。そこで組織や役員選出、事業などについて話し合うことになっている。

3 協議

(1) 校章選定について

事務局 前回、デザインは基本的にこれでよいが色はどうだろうかということがあった。資料の4ページのもものが第8回で確認されたもの。最初に応募されたときの色に戻したのが1ページのもの。デザインは異なるが、一番最初に応募の方が考えられた色ということになる。2ページは、虹の色を少し薄くしたものの。「KOFU」という文字が沈むということで、応募者の方が工夫された。3ページは、虹の4段の色の濃さを変えたもの。応募者の方に再度色の工夫をお願いする際、虹や川ということについて話題になったということをお伝えしたところ、『関東の人間から見ると、奥大山といえば清らかな天然水が湧き出

すところというイメージが濃く、大山の上の4段の帯は希望の象徴「虹」であると同時に、清らかな川の流れととらえていただいた方が、より校章としてはふさわしいと思いました』というコメントをいただいた。青いところは、川の流れであるとともに、希望の象徴の虹でもあるということにさせていただけたらと思う。

副委員長 どれがいいという考えを持っていただいていると思うので、ご意見をいただきたい。お一人ずつお聞きして、そこで絞られればそうだし、最終的には多数決になってくるのかなと。まずはご意見いただければ。

委員 自分は1案がいいと思う。(4つの案は)少しの違いだというのが第一印象。その中で最初の応募案であり、作者さんの思いを残した方がいいかなということで1案を推す。

委員 自分は2案がいいと思った。シンプルに直感でこれがいいかなと。校歌にある「セルリアン」ってこんな感じなのかなと思う。やさしい流れが想像できるのでいいかなと。

委員 自分も2案がいい。大きな違いはないが、ちょっと薄めの色の方がいいかなと。
委員 自分は1と3で迷った。事前に配られたので、職員にも見てもらった。白が多すぎるとすっきりしない。職員から「KOFU」という文字が大事だという意見が出て、「KOFU」が浮かんでくるようなデザインがいいなということで、最終的に3案かなと。

委員 自分は1案がいいと思った。最初に応募されたものに一番近い。最初これを選んだ時に、「奥大山江府学園」という文字を入れたいということと、「KOFU」という文字がもっと浮かびあがるようにということで補作をお願いしたと聞いているので、それで比べたところ1案がいいと思った。

委員 自分は4案。自分の感覚になってしまうが、生徒が明るい気持ちになれば。虹の明るさもあっていいかなと思って4にした。

委員 自分は1と3で迷った。作者の思いに沿った形(元々虹だけれども、川もイメージしていただくのもよい)で1案がいいかなと思うが、虹という意味で言うと3案も虹らしくていいし、川にも見えるしいいかなというのはある。シンプルに当初に立ち返って、1案の方がすっきりしているいいのかなと思うので、1案。

委員 自分は3案がいいと思う。1案でも2案でも悩むところではあるが、(虹を)水ということを作者もおっしゃるのであれば、このデザインが江府町らしい。元々このデザインでもあったし、2案でも3案でもこのイメージだが、強いて言うならば3案が「KOFU」が見やすいと思う。

委員 自分は3案がいいと思う。校章はマークなので、できるだけシンプルでシンボリックなものがいいと思う。3案が一番すっきりしているかなと。情報がた

くさん入っているが、3案がすっきりしているかなと思い3案にした。

副委員長 自分は3案。委員もおっしゃったが、図案を考えられた方の（帯には）虹というのと川というのもあるという意味を考えると、やっぱり3案がすっきりする。虹でもあり川でもあるというイメージを捉えやすいのかなと。川の流れを模した虹でもありながら、いろんな多様性というか、その中でもいろんな個性を出しているような意味合いも入れられるのかなと。青でもいろんな色があっというような。バランスをとっているというような。考えようもあるのかなということも思って、3案がいいのではないかと思った。

事務局 本日欠席されている委員から、自分は2案がいいということを伝えて欲しいと言われている。

委員長 自分も1案か3案かなと思って迷ったが、日野川校舎でもあるので、川の色でもあり、だんだん色が少しずつ変わっているところを見れば虹に思えるかなと思って。結論は3案にした。

副委員長 どれもいいものなので、どれにも賛成意見をいただいている。どれになったとしても学校の校章としていいものだということは確認できたと思う。意見が4つに分かれてはいるが、どれになってもいいということを確認させてもらったということで、やはり投票ということで決めさせてもらってもよいか。

————— 投票 —————

投票結果

案	1案	2案	3案	4案
得票数	1	1	8	1

副委員長 今の投票の結果、校章は3案を採用させていただくということで、決定させていただきたい。

(2) 校歌の選定について

事務局 前回、校歌については、現在の江府中の校歌の歌詞を一部変更するというところで協議いただいた。歌詞を変更することについてどうなのかという話もあり、過去に事例があったということも紹介させていただいた。それを受けて、経緯についてまとめたものを作成するよとの話があったので、5ページに資料を準備した。

※「奥大山江府学園校歌について」資料説明

<以下補足説明>

■草野氏が作曲した校歌の中で校名変更により歌詞を変更した2例について

例1【独立行政法人国立高等専門学校機構福島工業高等専門学校】

「平工業高等専門学校」という名称で開校。1967年に「福島工業高等専門学校」に改称。学校のホームページに校歌が掲載されているが、歌詞は「福島高専」となっている。作詞者は草野心平。ホームページには次のような補足説明がある。『草野心平氏による原筆においては当初、詞中「おゝ福島高専」の部分は「おゝ平高専」であった。これは、当初本校が「国立平工業高等専門学校」として創立されたことによる』。草野心平記念文学館の学芸員より、1967年は本人存命の時期であるということと、その経緯からも、本人が了承されて歌詞の変更をされたことは間違いないとのことだった。

例2【群馬県 太田市立太田中学校 太田市立太田高等学校 中高一貫校】

ネットに掲載されている「中高一貫校準備室だより（H23年1月21日）」に「校歌については、現在の太田市立商業高等学校校歌の歌詞『太田商高』の部分を変更し、中学校、高等学校とも同一の校歌とする予定です。（著作権協会及び作詞家の草野心平氏のご遺族には内諾をいただいております。）」との記載があり、遺族に承諾を得るというケースもある。

副委員長 事務局で校歌の経緯についてまとめていただいた。著作権を持っておられる草野心平さんのご遺族からもO.K.をいただけるということを確認できている。校歌を「ああ 江府学園」と変えていくということだが、事務局作成の経緯について、こういうことが必要ではないかという意見や確認した方がいいというようなことはないか。よろしいか。みなさんこの内容で納得していただけるか。

これは、どのような形で町民に知らされるのか。

事務局 『義務教育学校だより』を全戸配布しているので、たよりにこの内容を掲載して住民のみなさんにはお知らせしたいと思っている。合わせて、1月の議会の際に、このような経緯で校歌はこのようになったということを報告する予定。

副委員長 では、これをもって、現在の江府中学校の校歌を「ああ 江府学園」と歌詞の部分を変更して、奥大山江府学園の校歌として歌い続けていくということできかせていただきたい。よろしいか。では校歌の選定はこれで終わる。

4 その他

委員 当初校歌の議論をしたときに校舎歌の話が出たと思うが、それは結局どういう扱いでどうしていくのかということも議論しなくてはいけないのではないか。

副委員長 話の中で、校歌を歌う場面が限られている中で、校舎歌を歌う時がなかなか

委員

ないことから、校歌を一本にして大事にしていくほうがいいのかという意見も出ていたと思うが。小学校の校歌を校舎歌として残していくほうがいいのかというご意見があれば検討していきたいと思うが、いかがか。新しい校歌を作るか作らないかの時の議論で、中学校の校歌が選任された。その中のひとつの理由が、江府小学校の校歌を校舎歌として残すからと一番最初に話だった。副委員長が言われたように、前は、校舎歌は歌う機会がなかなかないから（校舎歌は難しい）という話になった。そのあたりが曖昧になっているので確認を。あとは、現実的に2つ歌があることがどうなのか。小学校の校歌がなくなってしまうのも、なんとなく寂しい。作った時の方々とかこれまで歌い継いできた子どもたちや保護者からすると寂しい思いもある。委員会の中の話の中では、どこかで日の目をみるからいいかという感じだったのが、そのままなくなってしまうのか。それはそれで寂しい感じはする。そのあたりをはっきり決める方がよいのでは。

委員

12年前に学校統合した時に、4つの学校の校歌を録音してCDにまとめて配られたという経緯があった。（江府小学校開校）10周年の時に、みんなで各学校の校歌を復活させてみようといった時に、すごくいいと言って全曲歌った。そういうこともできる。CDを作る方法もある。江府中も学校名が変わってしまう。2つの校歌をCDに収めておいて記録しておいたり、教員に配っておいて残しておくのがいいのかなと。言われたように、校舎歌を歌う機会はない。小学校は、全校朝会とか始業式、終業式、入学式などに校歌を歌う。新しい学校になったら校歌を歌っていくと思う。そうすると、たくさん機会を設けて憶えていくということも必要。1年生は歌詞も難しいので慣れていった方がいい。絶えず歌って学校としてのまとまりを感じていくということも必要。新しいスタートとしては、ひとつに絞ってもよいかなど。（2校の校歌は）何かメモリアルのようなものも必要かなと。閉校して学校を閉めていくので、学校、教育委員会などが一緒になって、みなさんにご意見をいただきながら、閉めていくことが必要だと思う。

副委員長

校舎歌を歌うということは、現実的に難しいか。

委員

そうである。掲げるのはいいが、歌うというのは回数的になかなか難しいと思う。江府小学校で歌っている卒業式の歌は、ずっと残していけばいいと思うので、5年生が6年生になり校舎が変わる時の巣立ち式として歌は歌い継いでいこうかなと思う。

副委員長

今、閉校式に関連したご意見もいただいて、どのような閉校式を行うかということも今後丁寧にやっていくべきだと思う。校歌の扱いもそのようにしていくべきだとは思うが、校舎歌を残していくことについてもう少しご意見いただければと思うが。

- 委員 定期的でなくても、しょっちゅうでなくてもいいので、校舎歌をみんなが耳にする機会というのがどこかであると、それが校舎歌としてみんなの耳に残って、心にも残るのかなど。何がということは言えないが、なにかあればいいなと思う。
- 委員 自分も最初は校舎歌を残して新しい校歌を作ればいいのではないかとか思っていたが、いろいろ現実的ではないということも聞いた。下の子が義務教育学校の新1年生で入るが、その時に全く歌えない歌を飾ってあるのも寂しいのかなという思いもある。それなら、今言われたように、何かセレモニー的な、卒業生もこの歌を歌って育った子たちも、きちんと心にも残るように記録にも残るようなことをしてあげられたら、校歌もいいのかなという思いがした。
- 委員 自分が中学校の校歌を心に留めているように、同じように小学校の校歌を（大事に）思っておられる方もおられる。江府町もいろんな歌があるので、セレモニーとかメモリアルな形で歌い続けることができたらいいと思う。
- 委員 自分も校舎歌として残したいと思っていたが、歌う場面がないということを知ると、現実的にはそうなんだなということがわかった。先ほど委員が言われたように、何かメモリアル的なこととして、みんなの心にのこっていくような形で残していけたらいいと思う。
- 副委員長 （校舎歌として）掲げていても歌わないというのは、逆に大事にしていないということになるのではないかということも思う。統合前の（小学校）4校の校歌を10年ぶりに歌った時、新たな感動を覚えることがあったとのことだが、どのようにこの小学校の校歌を聞けるようにしていくかとか歌っていく機会をつくっていくとか、そういったメモリアル的なところで大事に扱っていくのがいいのではないかというご意見が多かったように思う。
- 委員 4校の校歌が学校に飾られていて、それを見て、歌う機会はないのだろうが、なんとなく伝統は感じるということなら同じような形にしたりとか。あとはメモリアル的な時には歌うということでもいいのでは。現実的に校舎歌を歌う機会があればあったで現場の先生は困られるのではないかとも思う。
- 副委員長 閉校に向けて、今の小学校の校歌を掲示するといった扱いについては今後検討していかなくてはいけないが、大事にしていくということは間違いのないと思うので、いい方法を今後考えていくということで、まとめてよいか。これで、校章と校歌の選定が終わったので、今後のスケジュールについて事務局の方からお願いしたい。
- 事務局 今後、この準備委員会の協議事項としては、閉校式、開校式がスケジュールに入っている。これについては、もう少し時期が近付いてからと考えている。全てを準備委員会で決めていくのは難しいと思うので、ある程度事務局で案

を考え、部分的に準備委員会で検討していただくことを想定している。時期ははっきりしないが、9月以降くらいに集まっていただくことになると思っている。次回開催については、基本9月以降とさせていただいてよい。

5 閉会

委員長

校章と校歌が決まった。小学校校歌は、後ろ髪をひかれる思いだが、校舎歌としてではなく、メモリアルな形で歌う機会があればいいと思う。草野心平さんの作詞は貴重であり、それを残していただいてみなさんにお礼を申し上げたい。カリキュラムについて、学校行事についてなどいろいろすり合わせがあると思うし、令和4年度からは実施ということになるので、目の前にきたということで、みなさんには今後もまたいろいろとお世話になる。よろしくお願いしたい。

※次回開催予定

令和3年 9月以降